

第2次栗東市子ども読書活動推進

成果

第2次計画で各関係個所において取り組みを実施し、その結果、1ヶ月に1冊も本を読まない子どもの割合は、年により多少の増減はありますが、全体的には減少の傾向にあります。

課題

本を読まない子どもの割合は、小学生は県下と比較して低い割合を示してきています。しかし、中学生については、改善されつつありますが、県や全国と比較して依然として高い割合を示しています。このようなことから、引き続き、本との出会いの場の提供、情報の共有等が必要です。

第3次栗東市子ども読書活動推進計画の策定について

目的

子どもが自由に読書に親しめるよう、読書の楽しさを伝え、読書に関わる環境を整え、子どもの自主的な読書活動を支えられるよう、第1次計画そして第2次計画の成果と課題を踏まえ、さらなる子どもの読書活動推進をめざして総合的かつ計画的な推進を図るために定めます。

取組

それぞれの取組み以外に「子ども読書の日」(4月23日)と「子ども読書週間」(4月23日から5月12日)の期間に各関係機関の事業をできるだけ集約して実施し、啓発についても市全体で推進します。

期間

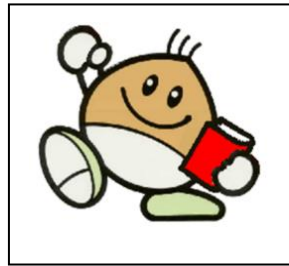
令和2年度から5か年

基本方針

子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実

家庭・地域・校園を通じた社会全体での取り組みの推進

子どもの読書活動に関する理解と関心の普及



乳幼児期における推進

幼稚園・保育園・幼稚園における推進

小学校・中学校における推進

地域における推進

市立図書館における推進

目標 (現状 (R1) → 目標 (R7))

- 家庭で読み聞かせをしていない割合
就学前
22.1% → 17.0%
- 1か月に1冊も本を読まない子どもの割合
小学校4～6年生
3.6% → 2.5%
中学生
26.0% → 16.0%
- 1か月の平均読書冊数
小学校4～6年生
7.1冊 → 8.0冊
中学生
2.3冊 → 3.0冊
- 市民1人当たりの児童書年間貸出冊数(12才以下)
23.0冊 → 23.5冊
- 市民の図書館貸出カード登録率(15才以下)
70.1% → 72.0%